

### Ⅲ 地域別構想

---

### 3-1 地域別構想の役割と地域区分

#### (1) 地域別構想の役割

地域別構想は、都市計画区域外を含めた本市の全域を地域の特性等に応じて区分し、全体構想による市域全体の都市づくりの方向を踏まえながら、目指すべき地域の将来像と地域づくりの方針を示すものです。

市民がまちづくりを身近な問題としてとらえ、市民と行政が目標像を共有しながら、協働してまちづくりを進めていく上での一助となるものです。

#### (2) 地域区分の設定

地域区分は、本市における土地利用の状況と人口、産業等の自然的、社会的諸条件を考慮して、北部地域（池田、昭和地区）、西部地域（秦、神在、久代、山田、新本地区）、南部地域（総社、常盤、清音地区）、東部地域（三須、服部、阿曾、山手地区）に区分します。


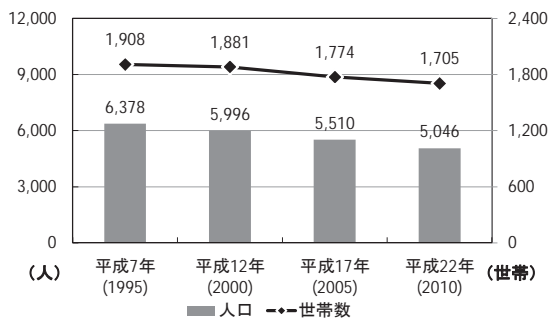
#### 【地域区分図】



## 3-2 地域別の整備方針

### 1. 北部地域

#### (1) 地域の概要

<p>位置・地勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部地域は、市の北部に位置する池田地区、昭和地区の区域で、東側は岡山市に接しており、北側から西側にかけて吉備中央町、高梁市、井原市、矢掛町に接しています。</li> <li>地域全体が山間部であり、土砂災害警戒区域が分布しています。</li> <li>山間部の谷合に河川が発達しており、地域の西部から中央部にかけては高梁川が東流し、地域の東部には落合川や槇谷川が南流しています。</li> </ul>	<p>北部地域 位置</p> 															
<p>人口・世帯</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部地域は、人口、世帯数ともに減少傾向が続いています。</li> <li>高齢化率<sup>*</sup>は42.1%と、市平均（26.4%）を大きく上回っています。</li> <li>年少率<sup>*</sup>は7.9%と、市平均（14.5%）を下回っています。</li> </ul> <p>※平成27（2015）年1月時点</p>	<p>北部地域 人口及び世帯数の推移</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯数 (世帯)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成7年 (1995)</td> <td>6,378</td> <td>1,908</td> </tr> <tr> <td>平成12年 (2000)</td> <td>5,996</td> <td>1,881</td> </tr> <tr> <td>平成17年 (2005)</td> <td>5,510</td> <td>1,774</td> </tr> <tr> <td>平成22年 (2010)</td> <td>5,046</td> <td>1,705</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：総社市統計書</p>	年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)	平成7年 (1995)	6,378	1,908	平成12年 (2000)	5,996	1,881	平成17年 (2005)	5,510	1,774	平成22年 (2010)	5,046	1,705
年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)															
平成7年 (1995)	6,378	1,908															
平成12年 (2000)	5,996	1,881															
平成17年 (2005)	5,510	1,774															
平成22年 (2010)	5,046	1,705															
<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域東部の池田地区は都市計画区域、市街化調整区域で、地域西部の昭和地区は都市計画区域外となっています。</li> <li>地域の大部分は山間部ですが、JRの駅周辺や川沿いを中心に集落が形成され、谷合の平野部には田畑が広がっています。</li> </ul>																
<p>交通・都市施設等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高梁川沿いにJR伯備線が通り、豪溪駅、日羽駅、美袋駅が立地しています。</li> <li>国道180号が高梁川沿いに地域を縦貫しており、同道に接続する主要地方道総社賀陽線及び主要地方道倉敷美袋線、また主要地方道総社三和線等の幹線道路が通っています。</li> <li>地域の公共交通機関として、JR美袋駅を起点に路線バス美袋-槇線、美袋-木戸線が運行されるほか、デマンド型の新生活交通（雪舟くん）が運行されています。</li> <li>JR美袋駅南側に美袋浄化センターが、また地域南部に一般廃棄物最終処分場が立地しています。</li> </ul>																
<p>環境・景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部地域一帯は、森林が広がり、高梁川、槇谷川及びそれらの支流などの清流や国指定名勝である豪溪、また秋葉山など、自然と景勝に恵まれた地域となっています。</li> <li>地域の北西部には高間キャンプ場があり、自然と触れ合えるレクリエーション空間となっています。</li> </ul>																

## （２）地域の課題と方向性

- ・地域の人口、世帯数は一貫して減少傾向が続き、また、40%を超える高い高齢化率となっていることから、高齢者をはじめ地域住民の生活サービス水準の維持や移動手段の確保がより一層求められます。
- ・山間部では、集落の周辺において集中豪雨等による土砂災害の危険性が高い場所が多いことから、安全な生活ができるよう、減災に向けた取り組みが求められます。
- ・高梁川や豪溪、高間キャンプ場など、自然と触れ合うことができる場所が多く存在することから、これらの地域資源を活用した魅力的な地域づくりが求められます。
- ・自然環境の保全と活用を図りながら地域の振興や活性化を図っていくとともに、生活道路、公園・広場等生活環境施設の整備を進め、定住とにぎわいのための施策を図っていく必要があります。
- ・産業の中心である農業の振興を図るため、農業基盤整備を進めるとともに、地元企業をはじめとする企業等を誘致し、雇用の場を確保するなど地域を活性化させる必要があります。
- ・市民アンケート調査結果からは、身近な店舗等の活性化を望む意見や、災害時の備えに関する不安等の意見があげられました。このため、地域拠点における魅力の向上や災害時の安全性の確保に向けた取り組み等が求められます。



名勝豪溪



地域拠点（JR美袋駅周辺）



集落地（池田地区）



消防署昭和出張所

（３）地域づくりの目標

地域づくりのテーマ

森林と川が織りなすふれあい環境と共生のまち

～流域の暮らしを守る防災対策とともに、農林業やレクリエーションを通じ人と自然が共生する豊かなコミュニティが維持される地域～

地域づくりの目標

- 森林や高梁川、楨谷川等の豊かな自然資源や田園景観を守り育て、これらを活かした特色ある田園居住環境や自然観察・レクリエーションの場の創出を目指します。
- 農林業の振興や身近な生活環境の向上を図りつつ、計画的な開発誘導を図り、コミュニティの維持と定住の促進に配慮した地域づくりを目指します。

（４）地域づくりの方針

方針・項目	主な取り組み	
地域の特性を活かした土地利用	工業・流通地, 工業・流通ゾーン	・ J R 日羽駅南側の既存の工業地やその周辺は、工業・流通ゾーンとして、地元企業をはじめとする企業の誘致を進めることで、工業の振興と雇用の創出を図ります。
	地域拠点	・ J R 美袋駅周辺は、多極ネットワークの結節点として、公共交通サービスの充実等による交通利便性の向上を図ります。 ・ 地域の玄関口であるとともに生活の中心として、日常の生活利便施設の立地など利便性や住環境の向上に資する環境整備を進めます。
	農地・集落地	・ 農地は、食糧の生産機能はもとより、遊水機能、緑地空間等の多様な機能を有する貴重な用地であることから、農業施策等との連携により地域に適合した農業基盤整備を進め、優良農地の保全・確保に努めます。 ・ 商店、診療所等の日常生活に必要な機能が徒歩圏内に集積し、各集落を公共交通サービス等をつなぐ、「集落地生活拠点」の形成などコミュニティの維持を図るための施策を展開し、既存集落地の維持・改善を図ります。 ・ 都市居住者に対して、自然と一体となった居住環境や遊休農地等の情報提供を行い、U J I ターン*の促進を図ります。
	丘陵地, 山間地・森林地域	・ 本地域の大半を占める森林は、水源かん養や洪水の調節、大気の浄化、動植物の生息環境など都市全体の中で重要な役割を果たしていることから、その維持・保全を図ります。



方針・項目		主な取り組み
快適で利便性の高い交通環境づくり	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 180 号，主要地方道倉敷美袋線，主要地方道総社賀陽線，主要地方道総社三和線等を軸とした地域間連携軸を形成するとともに，幹線道路や鉄道駅と連携する生活道路網の整備を進め，広域との連携強化や地域内交通の円滑化を図ります。</li> <li>・一般県道美袋井原線については，関係機関と連携し，老朽化した水内橋の改築を推進していきます。</li> <li>・生活道路の整備については，安全性，防災性，景観・環境などに配慮し，行政と沿道の地域住民との協働により，地域の実情に応じた愛着の持てる道づくりを進めるとともに，地域住民による維持管理活動の充実に努めます。</li> <li>・集落地周辺の国道 180 号については，歩行者の安全性の確保に努めます。</li> <li>・山間部を走る幹線道路については，自然環境の保全に配慮した整備を図ります。</li> </ul>
	その他交通施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域拠点に位置する J R 美袋駅については，関係機関と連携し，バリアフリー化など機能向上を推進します。</li> </ul>
安全・安心・快適な生活環境づくり	公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園・広場については，健康増進や憩いの場とともに，避難場所としての機能も踏まえ，全市的な配置バランスを考慮して整備を進めるとともに，地元管理を基本に，維持管理の効率化に努めます。</li> </ul>
	下水道・河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道については，美袋浄化センターの適切な維持管理に努めます。</li> <li>・公共下水道事業の対象外の地域については，合併処理浄化槽の設置を推奨します。</li> </ul>
	その他都市施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業，簡易水道事業の給水区域外となる山間部集落については，小規模区域給水施設設置のための補助金を交付し，施設整備に努めます。</li> <li>・既存の集落地については，必要に応じて辺地総合整備計画等との整合を図りつつ，生活基盤や情報基盤等の公共的施設の整備等を進め，定住とにぎわいのための施策を引き続き進めていきます。</li> <li>・土砂災害警戒区域等において，砂防事業をはじめとする治山・治水等の防災事業については，関係機関と連携して，住民の安全確保に努めます。</li> </ul>
自然環境の保全とレクリエーションの場づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山活動や川づくり活動などを活かし，地域住民と行政，都市居住者等との協働により森林資源，水辺環境の維持・保全を図っていきます。</li> <li>・名勝豪渓，井風呂谷川砂防公園等の多様な自然資源やレクリエーション施設をネットワークし，森林と水辺空間が一体化した自然観察・レクリエーションの場の形成を図っていきます。</li> <li>・水と緑のアメニティ軸を形成する高梁川，楨谷川等の河川については，水質の浄化や多様な生物の生息地の保全に努め，生態系に配慮した河川の整備と良好な河川景観の形成に努めるとともに，自然と触れ合い憩うことのできる親水性の高い水辺空間の創出を図っていきます。</li> <li>・高間キャンプ場は，自然との触れ合いの場として，できるだけ自然の環境を維持した状態でのレクリエーション機能の充実に努めます。</li> </ul>

※U J I ターン：U ターン（進学や就職のため出身地から地域外へ出た後，再び出身地へ戻ること），J ターン（進学や就職のため出身地から地域外へ出た後，出身地の近隣地域に戻ること），I ターン（出身地にかかわらず，住みたい地域を選択し移り住むこと）を表します。

